

HTML 言語というだけあって、  
html は英語や日本語と同じように  
意味を伝えるための言語(言葉)です。

わたしたちが使う言葉は  
時と場合によって、また、相手によっても表現を変えますが

HTML 言語もそれと同じです。  
ブラウザのバージョンごとにドレスコードが存在し  
HTML 言語が生まれた(提唱された)年代によっても  
流行り言葉や廃り言葉があったり方言も短縮言葉もあります。

たとえば「感謝の言葉」

ありがとうございます も  
ありがとう も  
サンキュー も  
どーも も  
あざーっす も

日本語と現代の日本文化が通じれば、意味合いとしてはとりあえず相手には通じます

でも

「取引相手や大事なお客様に向かって」使う言葉と  
「友達に対して」使う言葉  
「初対面や近所の人に対して」使う言葉や  
「上司に対して使う言葉」  
「若者に対して」使う言葉、  
「ご年配の方に対して」使う言葉はそれぞれ違いますよね？  
無意識のうちに状況に合わせて  
ニュアンスを変えていると思います。

さて、ところで

「誰に対しても受け入れられて礼儀作法に則っていて  
好印象で、なおかつ信頼を持たれてとても明確でスマートな話し方」

とはいったい何でしょう？

—そう、「敬語」であり、  
「意味の取り違いがあっては相手との信頼関係に響く」  
要は「ビジネス会話」です。

その「HTML 言語にとってのビジネス会話」を推奨しましょう  
という動きが「Web 標準」の動きであり、  
その現在のビジネス会話の代表格が xhtml+CSS なのです。

しかし、現状として「ビジネス会話」は確かに推奨はされますが  
実際に全部が全部それに則って社会全体で  
使われているわけではありません。

相手に沿った親しみ深さがどこかに存在しない限りは  
信頼関係も結べないし、商談も成立しません。

言葉の使い方(html の記述方法)の大前提は  
「相手にだいたい意味が通じて」「信頼感があり」  
「相手に不快感を与えない」ものであればそれでよいのです。

コーディングルールや web 基準の適応についても  
同じように、必ずしも守らなくてはならない、というわけでもありません。  
表示ができて、便利で、情報が探しやすく、リンクや案内が間違っていなければ  
少々記述が間違っている、無駄なコードがあっても利益となり得るのです。

しかし、正しい知識というのはやはり必要で、  
土台となる知識や認識があやふやなままで作成しますと

原因がわからないまま堂々めぐりのように  
何度も同じようなエラーやミスをたびたび繰り返してしまいます。

(Dreamweaver の修正法については  
まずは基本理念(概念)を理解した上で  
設定方法の手順を確認し、  
ポイントを理解した上で進めてください。)

基本を素通りし応用力(テクニック)だけ身につけてしまっても  
状況が変わってしまうと総崩れとなりがちです。

特に、皆さんが今後携わる  
Web 制作現場で要求される知識というのは  
広範囲で敷居が高い上に、  
進化がとにかく早いので、情報は常に流動しており、

はっきりとした概念の情報が少ないので、  
制作者によっては知識の差も激しいです。  
(市場に出回る参考書や教材も間違っているものも多いのです。)

技術の進歩・クライアントの要望・作業環境・ターゲットユーザ  
などの状況によって 180 度仕様や方針が変わる、  
ということもざらにあることです。

例を挙げますと

実際にブログサービス会社などで配布されるブログテンプレートの  
html や CSS は web 基準に沿っていなかったり  
文法違反のものも本当に多く存在しています。

しかし、「ユーザーと提供元双方が使いやすい・提供しやすいもの」  
であって「見た目がきれい」「これを使うことで多くの人の目に留まる」  
「利益がある」「使って楽しい」「発展性がある」ものであれば  
ブログを使う多くの人々のための"目的に沿っている"ので  
「有益な商品」となり得るのです。

また、病院などのサイトであれば  
手をけがしたから診察を受けたい時(マウスは使えないのでキーボード+指一本で操作など)、  
操作に不慣れなご年配の方が診察時間を調べたい時、  
目の見えない方が音声ブラウザの助けを借りて閲覧する時、  
様々な機種 of 携帯などにも正しく対応できることが望ましく  
web 基準に沿っていてなおかつ、検索ですぐに表示されて、  
誰でも使えるシンプルな操作方法を重視したつくりで  
あることが求められます。

例えばあなたが夜中に具合が悪くなって、  
とりあえず手元の携帯で「夜間診察受け入れ可能な病院の電話番号」を  
調べようと「病院」で検索してみたら、歯医者さんの情報ばかりでてきて、  
目的のものがなかなかでてこなかったとしたらどう思いますか？

html 文書は情報を求める人ためにあり、なおかつ情報が探しやすくなくてはなりません、

「何が一番の目的(誰・何のためのサイトか)で、  
そのためにどういう手段を取ればよりベターなのか」  
その方針と意識をはっきり持っておかないと

その場その場の応用やテクニックは、基本的にはつぶしがききません。  
「応用」や「テクニック」は、状況に合わせて  
その場その場で調べれば良いことなので、覚える必要はありません。

大切なのは

「自分自身でエラーとなる原因を見つけて、  
解決策を調べて動作を確認すること。  
目的に合ったメリットを優先し、  
手段(コーディング)にこだわらないこと。」です。

そのために失敗をたくさんしてください。  
そこから一つでも多くのことを学んでください。  
失敗が多いほど多くの方法を試すので  
改善策のレパートリーが蓄積されていきます。

知識を身につけて、使いこなすことは難しい事かもしれませんが、  
このテスト&エラーの繰り返しで自然と覚えて身につけていきます。

どうか頑張ってください。